

## 2021 年 期 ・ 追 論 文 の 実 施 要 領 に つ い て

2021 年 期 ・ 追 論 文 ( 第 1 回 ~ 第 6 回 ) を 以 下 の 要 領 で 実 施 し ま す 。

提 出 期 限 内 ( 8 月 23 日 ( 火 ) ま で ) に 研 究 報 告 書 を 必 ず デ ー タ で 提 出 し て く だ さ い 。

課 題 研 究 は、テ ー マ に 関 す る 論 理 の 展 開、結 論 の 導 き 方、文 章 表 現 な ど 研 究 報 告 書 作 成 に つ い て の 全 体 的 な 構 成 能 力 等 を 評 定 し ま す 。

### 1 . 対 象 者 : J3、修 業 年 限 短 縮 生、継 続 生 ( 2018 年 期 生 以 前 )

追 論 文 は 上 記 の 補 習 生 が 対 象 で す 。 そ れ 以 外 の 補 習 生 が 提 出 し て も 採 点 対 象 と は な り ま せ ン 。

### 2 . テ ー マ 及 び 文 字 数 : 各 実 施 回 別 に 指 定 さ れ た テ ー マ ・ 文 字 数 で 研 究 報 告 書 を 作 成 す る 事 。

別 紙 参 照

### 3 . 追 論 文 提 出 料 : 1 回 の 追 論 文 に つ き 15,000 円

提 出 希 望 者 全 員 ( 本 科 継 続 生 含 む ) 有 料 で す 。

### 4 . 申 込 方 法 : e ラ ー ニ ン グ シ ス テ ム に ロ グ イ ン 後、「考 査 [ 追 試 験 ] ・ 課 題 研 究 [ 追 論 文 ] 申 込」メ ニ ュ ー を 選 択 し、「一 覧」か ら 受 験 を 希 望 す る 実 施 回 を 選 択 し「申 込 む」ボ タ ン を 押 す。決 済 用 の ウ ェ ブ サ イ ト に 移 動 す る の で、画 面 の 指 示 に 従 っ て ク レ ジ ッ ト カ ー ド / Pay-easy ( イ ン タ ー ネ ッ ト バ ン キ ン グ ) に よ る 決 済 手 続 き を 完 了 さ せ る。決 済 完 了 後 に、登 録 さ れ て い る メ ー ル ア ド レ ス に 受 付 完 了 の メ ー ル が 届 く の で 必 ず 確 認 す る 事 。

### 5 . 注 意 事 項 : 追 論 文 の 申 込 期 間 は 7 月 26 日 ( 火 ) 17 時 か ら 8 月 23 日 ( 火 ) 23 時 59 分 ま で と す る。締 切 後 の 申 込 は 受 付 け ま せ ン。

申 込 締 切 日 前 に キ ャ ン セ ル を 希 望 す る 場 合 は、e ラ ー ニ ン グ シ ス テ ム か ら キ ャ ン セ ル し た い 追 論 文 実 施 回 ( 申 込 締 切 日 前 の も の に 限 る ) を キ ャ ン セ ル す る 事 。

申 込 締 切 日 を 過 ぎ た 場 合 の キ ャ ン セ ル は 返 金 お よ び 他 の 課 題 研 究 実 施 回 へ の 振 替 不 可。

### 6 . 提 出 に つ い て

提 出 期 限 : 2021 年 8 月 23 日 ( 火 ) 23 時 59 分 ま で に デ ー タ 提 出 す る 事 。

デ ー タ 提 出 方 法 : デ ー タ は、マイ ペ ー ジ ( 取 得 単 位 確 認 シ ス テ ム ) か ら 提 出 し て く だ さ い。登 録 手 順 ・ 注 意 事 項 に つ い て は、下 記 を 参 照 く だ さ い。

## 【提出手順】

マイページ（取得単位確認システム）へログインする。

画面左「課題研究提出等」をクリックする。

提出する実施回と提出先補習所を確認し、所属する班を選択する。

「提出ファイルの選択」をクリックする。

自身の提出する班を確認し、「参照」より提出するMSワードデータを選択する。

「提出ファイルの登録」をクリックし「参照」から作成データを選択することで登録完了となります。

データ登録後、マイページより、登録データが確認できます。必ず確認すること。

**提出先を間違えたものは採点しません。**

## 【注意事項】

登録した課題研究データを必ず提出期間内にマイページ上段から確認してください。

**登録データが確認できない場合、採点されません。**

表紙と本論を一つのファイルで登録してください。（別々に登録はできません。）

提出データを変更する場合は、再度登録を行ってください。（期限内のみ有効）

データファイルを複数回提出した場合は、提出期限までに提出された最終のデータが採用されます。

## 7. 作成について < 研究報告書の構成 >

表紙、本論、出典・参考文献でページを分けて明確に区別し、本論にはページ番号を付けること。ただし、第4回と第6回は表紙の次に目次を付けてください（表紙、目次、本論、出典・参考文献）。

なお、出典・参考文献を記載する際には、出典・参考文献に関する注意事項を厳守すること。特に、引用箇所は、「」（引用符カッコ）でくくり、出典を明確（頁数も記載）にするといった引用ルールを無視した場合、**無断引用（剽窃行為）**となり『**不正行為**』として処罰対象となるので注意すること。

## 8. 提出形式：

Word で作成し、A4 横書きに設定すること。

表紙は所定の様式をダウンロードして使用すること。（近畿実務補習所 HP に掲載）

表紙には、「対象の実施回」、中央に「テーマ（各実施回テーマの全文を省略せずに記載すること）」、下部の「研究報告書作成にあたって」の各事項にチェックを入れ、「期、班、補習生カード番号、氏名及び字数」を必ず明記すること。

表紙に不備があった場合、採点されない場合があるので必ず指示に従うこと。

## 9. 作成に当たっての注意事項ほか

課題研究提出前チェックシートを利用し、自身で事前にチェックを行うこと。

表紙下部の「研究報告書作成にあたって」の各事項にチェックが入っていない場合、誓事項を守る意思がないとみなし採点対象外とされることもあるので注意すること。

指定以外の表紙の使用や用紙サイズ違い、字数不足や字数超過などの形式不備があった場合は、評価点から減点されるので注意すること。

本論における文字数には、「図表等」は含まれないので注意すること。

ページ替えをせずに本論のページに出典・参考文献を記載した場合、形式不備として減点するので、注意すること。また、出典・参考文献がない場合は、「出典・参考文献」の頁に「なし」と記載すること。

剽窃と誤解されないように、直接引用の場合は当該引用箇所を「」（引用符）でくくり、通し番号をふった上で「通し番号」・「著者」・「文献名」・「発表場所（雑誌名など、WEB ページの場合は URL とウェブページのサイト名とタイトルおよび参照日）」・「ページ数」を記載。なお、本論の頁に脚注として引用や補足を記載する場合は、行数、文字数から除外すること。

基準や通達、指針等公になっているものは引用符を付けて参考文献に書く必要はありません。

データファイルの提出を求められることがあるので、ワープロ等で作成した際のデータファイルは削除せず、当期中は保存しておくこと。

他人の研究報告書の丸写しやウェブサイトからのコピー＆ペースト、出典・参考文献に関する注意事項のルール無視による**無断引用（剽窃行為）**などを行った者、及び『**職業専門家に求められる守秘義務の責務に抵触する可能性のある行為**』を行った者は、運営委員会で審議の上、相応のペナルティを科す。

提出された研究報告書は返却しない。ただし、希望者には採点後の表紙のみ返却する。

以上

(別紙)

2021 年期 追論文(再提出)のテーマについて

**【第1回課題研究テーマ】**

公認会計士に求められている社会的役割を踏まえて、あなたが目標とする公認会計士の姿と、そのためにあなたが取り組んでいこうと考えていることを述べなさい。

**【文字数】**本論のみで1,600字~2,400字程度

**【第2回課題研究テーマ】**

職業的専門家としての懐疑心が重要とされていますが、あなたにとって懐疑心とは何か。また見積もり項目の監査を行うにあたってはどのような点において懐疑心を発揮していくことが必要と考えるか

**【文字数】**本論のみで1,600字~2,400字程度

**【第3回課題研究テーマ】**

「会計上の見積りの開示」について、実際の開示例を一つとり上げ、開示前と開示後を比べて、「会計上の見積りの開示」が会社にもたらす影響について論じなさい。

(\*) 論述にあたっての着眼点

- ・会計上の見積りを行う上で、使用した主要な仮定や使用した見積り方法として何があるか
- ・見積り方法を選択した根拠(適用したモデルを含む)は何か
- ・見積りの不確実性の発生要因は何か、その中で、経営者の恣意性はどのように介入するかなお、課題研究を実施するに当たり、下記の基準を理解した上で取り組むこと。
- ・企業会計基準第31号「会計上の見積りの開示に関する会計基準」
- ・企業会計基準第24号「会計方針の開示、会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」

**【文字数】**本論のみで3,200字~4,000字程度

#### 【第4回課題研究テーマ】

昨今、四半期開示制度の在り方が議論されている。例えば、新しい資本主義実現会議の令和3年11月8日緊急提言～未来を切り拓く「新しい資本主義」とその起動に向けての13頁には「企業の人的投資を促進するため、金融審議会において、企業の人的資本への投資の取組などの非財務情報について有価証券報告書の開示の充実に向けた検討を行うとともに、投資家や企業の意見を踏まえ、市場への影響を見極めた上で、適時開示を促進しつつ四半期開示を見直すことを検討する。」と記載されている。

そこで、四半期開示制度について、あなたが関心を抱いた論点について意見を述べなさい。

なお、現行の四半期開示制度の概要や論点を網羅的に述べる必要はない。

【文字数】本論のみで4,800字～5,600字程度

【注意】表紙（改頁）目次（改頁）本論（ページ番号を付す）（改頁）出典・参考文献を明記

#### 【第5回課題研究テーマ】

日本において、公認会計士による法定監査以外に、どのような場面で「監査」という言葉が用いられているかを調べ、公認会計士による法定監査と、それ以外の「監査」の異同点をあなたの視点で整理した上で、公認会計士としての「監査」の必要性について、あなたの意見を述べなさい。

【文字数】本論のみで1,600字～2,400字程度

#### 【第6回課題研究テーマ】

昨今、上場企業がサイバー攻撃を受けることにより、大幅な決算発表の遅延が起きるなど、企業にとってサイバーセキュリティへの対応が重要な課題となっています。

そのような状況の中で、公認会計士が監査を通じてどのような役割を果たすことができるか、またそのような役割を果たすにあたってどのような能力が求められるか、あなたの考えを述べなさい。

【文字数】本論のみで6,400字～7,200字程度

【注意】

表紙（改頁）目次（改頁）要旨（改頁）本論（ページ番号を付す）（改頁）出典・参考文献を明記。要旨は400字～800字程度でまとめる。（字数の超過・過少は減点）

## &lt; 出典・参考文献に関する注意事項 &gt;

- (1) 引用箇所は、「」(引用符カッコ)でくくり、出典を明確(頁数も記載)にすること。  
 また、ウェブサイトからの引用の場合は、そのアドレス(URL)とアクセスした日を記載する。
- 論文の最後に掲載する参考文献の一覧は、日本語の文献(著者氏名の五十音順)、欧文の文献(ファミリーネームのアルファベット順)の順に記載する。
- 日本語の場合は、単行本・雑誌名は『』で、論文名は「」でくくる。一方、欧文の場合は、単行本は書名を、論文の場合は雑誌名を、それぞれイタリック体で記載する。
- 文献は次の順序で表記する。なお、発行年が同じものが複数存在する場合、発行年にa、b...をつける。

|     |  |
|-----|--|
| 単行本 | 著者(编者)名、発行年、『書物名』、発行所。                 |
| 論文  | 著者名、発行年、「論文名」『収録書物名(または雑誌名)』巻数・号数、掲載頁。 |

(参考文献の記載例) 著者名、論文名、発行所等はすべて架空のものです。

**【単行本の場合】**

- (1) 中村花子(1998)『アメリカ管理会計の理論』経営図書出版。  
 (2) 山下仁義監訳、斎藤 隆・西崎真一共訳(2008)『監査人の責任としての透明性』東京会計書籍。

**【論文の場合】**

- (1) 青木太郎(2009)「企業会計の利害調整機能 - 会社法との比較を中心に - 」『会計ジャーナル』第66巻第1号、32-47頁。  
 (2) 加藤 登(2015a)「企業会計と自治体会計の相違」『経理実務』第68号、15-26頁。  
 (3) -----(2015b)「自治体監査の特徴」『自治体会計研究』第25巻第3号、35-38頁。

**【欧文の場合】**

- (1) Abcde, Fghij K. (19xx), *Lmn Opqrs-T Study in the Uvwxyz*, Zyx Smith.  
 (2) Edcba, Jihgf T., S.Rqpo Lmn, Zyxwvu A. Bcde (19xx), *Auditors and the XXX of YYY, The Journal of Zzzz* Vol. 23, No. 4, pp. 55-66.  
 (3) Xyz Institute of Certified Public Accountants (XICPA), The XXX Committee on Financial Reporting(19xx), *Improving Business XXX Reporting : Information Needs of Vwxyz Investors*. Xyz Institute of Certified Public Accountants ( 川本健夫・浜本海彦共訳(200x)『 の改善報告』太陽書店).

引用・注記の表示は著者名、発表年と頁を（ ）で囲んで入れる。  
(引用する場合の記載例) 著者名等はすべて架空のものです。

**(1) 「 」(カッコ)で直接引用する場合**

...であるが、「法 22 条 4 項は、企業会計を意味する」(長嶋(2016) 199 頁)ことになる。

**(2)要約する場合**

長嶋(2016)によると、.....という解釈になる(193-195 頁)。

**(3)脚注で引用や補足する場合**

税法は、情報提供に重きをおく企業会計とは、ますます乖離するであろう<sup>(8)</sup>。

注(8) 鈴木(雅)(2015) 202 頁参照。

鈴木雅彦と鈴木茂雄の 2 名を参考文献に挙げている場合は、(雅)か(茂)で区別する。

- (2) 引用や注記をする場合には、必ず出典(出所)を明らかにする。また、参考文献の記載漏れがないよう特に注意すること。
- (3) 参考文献について記載のない場合においても、巻末に「参考文献なし」と記載すること。
- (4) 参考文献を明記しない場合、論文の盗用とみなされる場合があるので注意すること。
- (5) ウィキペディアや専門学校のテキストは参考文献として認めない。

以上

## 追論文（課題研究再提出）作成における、留意点

研究報告書を作成する際は、各テーマにおける論点整理はもちろんのこと、資料を収集・整理・分析し、考察や検討を行い、自分なりの結論を得ることが求められていることを理解し、採点者を納得させるだけの内容となるように心掛けること。

**主題の明確さ**      テーマを踏まえ「テーマを明確に論じ」「自分の意見が反映されている」かどうか。

**独創性**            自分なりの知識や見識をもとに、文章に独自性が感じられるかどうか。

**具体性**            テーマのもつ「原因・背景や問題点等の分析」「自分なりの解決策等を提示」しているか。

**説得力**            自分の意見を支えるための論拠が、明確で説得力があるかどうか。

**構成力**            章建てなど、論文を適切に構成する能力があるかどうか。

**思考力**            論理的展開力があるかどうか。

**文章表現・表記**    誤字脱字などの文章としての破綻がなく、意味が読み取れるかどうか。

※特に論文において、形式不備により減点されるケースが多く見受けられますので、「引用、出展、参考文献」などの点に注意して、本論中に明確に引用符などを記して作成してください。



## 課題研究提出前チェックシート

|             | 確 認 項 目  | チェック |
|-------------|--|------|
| 事前準備        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究報告書作成ガイダンス講座（動画）を視聴しているか。</li> <li>・ 課題研究実施要領を読み内容を確認しているか。</li> <li>・ 提出するテーマは正しいか。（他のテーマを選択していないか）</li> <li>・ 制限字数（上限・下限ともに）を確認しているか。</li> </ul>  |      |
| 表紙          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選択した「テーマ」の内容は正しいか。</li> <li>・ 「研究報告書作成にあたって」の全ての項目にチェックをしているか。</li> <li>・ 「期」、「クラス」、「補習生カード番号」、「氏名」及び「字数」を記載しているか。</li> </ul>   |      |
| 形式面         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ページ下部にページ番号を記載しているか。</li> <li>・ 他の文献やウェブサイトからの引用部分に引用符「        」<br/>を使用しているか。</li> <li>・ 過度な引用になっていないか。（自身の論述と引用のバランスは適切か）</li> <li>・ 誤字・脱字が無いことを確認しているか。</li> <li>・ 制限字数の上限～下限の中で記述できているか。</li> </ul> |      |
| 出典<br>参考文献  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他文献等やウェブサイトからの引用に際し、その引用元（出典）を明らかにして全て記載しているか。</li> <li>・ 参考文献を全て記載し、参考文献がない場合は「参考文献なし」と記載しているか。</li> <li>・ 参考文献、出典は記載例に従い正しく記載できているか。</li> </ul>   |      |
| その他<br>[宣誓] | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引用部分での引用符の使用漏れや無断引用はないことを確認したか。</li> <li>・ 他の補習生の論文を参考にしたり、写したりしていないか。</li> <li>・ 自身の経験等に基づく記述をする場合において、業務の過程で入手した情報など守秘義務の原則に抵触するような記述を行っていないか。</li> </ul>   |      |